

豊中みどりの交流会

こんな活動をしています！

みなさんのご参加
お待ちしております！

花苗プロジェクト

ふれあい広場 SEED での育苗や花壇活動が、第8回豊中市都市デザイン賞（活動）と第1回豊中まちなみ市民賞を受賞し、1月13日（金）文化芸術センターで行われた式典で表彰されました。

「ふれあい広場 SEED」での月2回の活動（状況により数回）や月1回のミーティング、落葉を集めた腐葉土作りや花壇作り、小学校や施設への花苗配布、地域の施設との協働など、地道な活動が認められた成果だと思えます。

これからも、より一層励んで、活動を充実させていきたいと思えますが、限られた人数の中でなかなか大変です。どうか皆さんのお力をお貸しください。市民の方ならどなたでも参加できます。お待ちしております！



地域みどり学習プロジェクト

みどりについて広く学ぶ視点から、ヒント集の作成や見学会、地域のみどりの活動団体紹介など、みどりに関して広く活動していきたいと思えますので、みなさんのご参加お待ちしております。

みどりのカーテンプロジェクト

今年度は、小学校が31校、こども園等の施設が38箇所、合計69箇所の皆さんがみどりのカーテンづくりに取り組み、市内のあちこちでみどりのカーテンができあがりました。

フォーラムでは、皆さんにお作りいただいたパネルの展示に加え、代表として桜井谷東小学校の生徒に詩や演劇を交えた素晴らしい発表をしていただき、おかげ様で来場した多くの方に、十分な緑化啓発を行うことができました。春から秋にかけて、プロジェクトにご尽力いただき、ありがとうございました。



みどりのつどい

日時 平成29年3月5日（日）

10:00~12:00

場所 花とみどりの相談所（豊島公園内）

内容 話題提供

・「つながりの広場」（ビオトープ）の取組みについて

パナホーム株式会社

・花いっぱいプロジェクトの取組みについて

豊中市立東泉丘小学校

他に次年度活動計画、意見交換 など

お問合せ 豊中みどりの交流会事務局

（豊中市公園みどり推進課）

☎06-6843-4121

【編集後記】

みどりだより29号は、みどりのフォーラム2016特集号です。例年2月末に発行しておりました「みどりだより（フォーラム特集号）」を少し早めて2月初旬に発行しました。「みどりのフォーラム2016」は10月23日（日）に開催し、176名の参加を得ました。基調講演をはじめ、各発表者の発表が素晴らしく、会場は立見が出るほどの活況でした。併せてパネル展示会場、体験コーナーも多くの人が集まり盛り上がりました。参加していただいた人からのアンケートも具体的な内容のものが多く現在の活動の参考になっています。フォーラム参加者を含め関係者の皆様に深く感謝いたします。

（池田 元久）



豊中みどりだよりは、みんなで、どンドン、りょっか（緑化）しよう！という意味を込めて、豊中市でみどり活動を進められている方に向けて発信するニュースです。

IGA

Toyonaka Green Action

みどりのフォーラム2016 特集



『みどりのフォーラム2016』を開催しました！

■「ひろげよう人とみどりの“わ”」をテーマに、10月23日（日）「とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ」にて開催しました。おかげさまで、たくさんの方にお越しいただき、盛況のうちに終えることができました。

▼基調講演：田中 晃代准教授（近畿大学総合社会学部総合社会学科環境・まちづくり系専攻）

▼活動発表：豊中みどりの交流会、桜井谷東小学校、豊中市社会福祉協議会（福祉推進室長・勝部 麗子さん）

▼報告：豊中市環境部公園みどり推進課

▼パネル展示：市内小学校（31校）：箕輪・北緑丘・桜井谷・西丘・新田南・寺内・新田・高川・庄内南・刀根山・北条・大池・原田・桜塚・克明・桜井谷東・野田・南丘・豊島西・中豊島・東丘・小曾根・豊南・蛍池・豊島北・豊島・東豊中（学童）・野畑・熊野田・庄内西・緑地）、市内こども園（旭丘・小曾根・栄町・桜井谷・島田・庄内西・高川・野田・原田・東丘・豊南西・本町）、ひかり保育園、ゆたか保育園、春日荘聖マリア幼稚園、豊中文化幼稚園、庄本老人デイサービスセンター、高川介護予防センター、豊島体育館、柴原体育館、くらしかん、豊中人権まちづくりセンター、東豊中地域福祉活動支援センター、豊中親和会みらい、豊中親和会第2みらい、豊中愛和会あすなろ、きらら作業所、上野デイハウスしもつき、幸楽の里、豊中あぐり塾、議会棟、消防本部、環境センター北部事業所、猪名川流域下水道事務所、豊中緑化リーダー会、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21、親和自治会、親栄自治会、竹炭塾、豊島北ビオトープクラブ、上野連合花壇同好会、豊中駅前まちづくり推進協議会、豊中みどりの交流会（順不同）

▼体験コーナー：花苗のポット上げ体験、ペットボトル鉢カバー作り、カード工作（ガリガリプロペラ）

みどりのフォーラム2016 講演・発表内容

基調講演 『都市部のみどりと市民協働』

近畿大学 総合社会学部 総合社会学科 環境・まちづくり系専攻
准教授 田中 晃代さん



「都市部のみどり」の対象となるみどりは、樹林・樹木、草地、農地、水面などです。みどりは癒しや安らぎの創出、景観形成、都市環境の保全、ヒートアイランド現象の抑制、生物多様性の保全、レクリエーションの場の創出、防災や減災、コミュニティの形成という多様な役割を担っています。

市民協働とは、市民、自治会、企業、行政などの様々な主体・組織が、公共性、公益性を考慮しながら、同じ目的をもって対等な立場で一緒に取り組む活動のことをいいます。

豊中の豊島公園での「豊中緑化リーダー会と花とみどりの相談所が協働するみどりの支援活動」が、第5回みどりのまちづくり賞の大阪府知事賞を取られています。緑化リーダーとなる座学だけでなく実技もあり、3年も続く充実した講習会が行われ、市民と行政がパートナーシップを基本に連携した優良なマネジメントの事例として、賞が与えられました。大阪市内では、屋上に菜園などを整備して、近隣住民に開放しているところがあります。なんばパークスのアーバンファームでは、会員制の都市型貸農園として、季節ごとに種付けイベントやワークショップ、マーケットなどを開催しています。あべのハルカスでは、ボランティアと連携して、積極的に果樹を栽培し、収穫したものをを使ったクッキング教室や芋ほり大会などを行っています。豊中では、2008年に開館した複合施設の千里文化センター「コラボ」での協働管理が行われています。

最近では、有効活用されていない空き地や空き家が多くなってきています。大阪市生野区生野東の「まつの農園」では、空き地となっていた土地の所有者に家賃を支払い、「出発のなかまの会」というNPO法人がその空き地を改修し、市民の主体的な農園活動の場となっています。都市計画やまちづくりの分野では、空き地や空き家は非常に悪者扱いされますが、積極的に地域の資源として有効活用するため、多くの方々の協力を得て、農園化やリノベーションを検討する必要があります。

緑化リーダーの育成などによりみどりの専門家を増やすなど、たくさんの人たちを巻き込む工夫が大切です。みどりは、人の心に癒しや安らぎを与え、色々な活動をつなげる役割を持っています。みどりで人がつながる、それがやがて地域の活性化につながると確信しています。



活動発表 『豊中めぐり塾について』

豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子さん

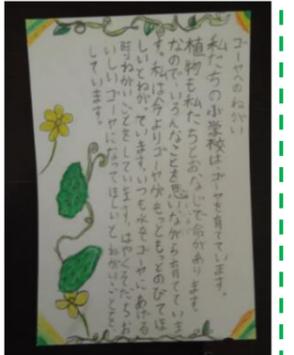
私たちは、宅地を農園にする取組を岡町で展開しています。男性は女性に比べてボランティアに参加することは少ないため、男性の社会参加の場として「豊中めぐりプロジェクト」を発足しました。都市型農園を拠点に、人と人とのつながり、ふれあい支え合う交友空間の創造、地域福祉の担い手の養成などを目標としています。また、虚弱な高齢者でも参加できるユニバーサルファームにおいて、野菜づくりをしながら料理教室や仲間づくりができることを目指しています。運営に公的助成はなく、すべて会費や寄付などで行っています。毎日キュウリやトマトなどの野菜が採れ、くらしかんの地産地消となる野菜販売や子ども食堂への寄付を行いました。国では健康寿命をどう伸ばしていくかが課題となっていて、この取組を介護予防になるものとして厚生労働省などの視察がありました。花とみどりの相談所の方から技術指導などのご支援をいただきながら、野菜づくりに取り組んでいます。この活動に50の方が集まりましたが、参加者からは「これまでの市民農園は野菜としゃべっていたが、ここに来たら仲間ができた」「地域に自然に溶け込めた」などの声をいただきました。「仲間づくりと野菜づくりと地域づくり」を目指し、こういった場所を増やしていけたらと思っていますので、これからの活動にご期待ください。

「Road to Green Tunnel (ロードトゥグリーントンネル) ~ゴーヤからつながる・広がる・深まる学び~」 桜井谷東小学校



桜井谷東小学校では、4年生になるとゴーヤを育てるという例年通りの流れにそって、「緑のカーテン作り」の取組みをスタートさせようとしていた担任の私たち。でも、豊中みどりの交流会の方々と出会い、「なぜゴーヤを種から育てるのか」「なぜ緑のカーテン作りを豊中で続けているのか」を聞きました。私たちは、この思いにふれ、「この出会いを大切にしていきたい」「この思いを子どもたちに伝えてほしい」と思いました。

さっそく5月末、「みどりのカーテンプロジェクト」について話を聞きました。「ゴーヤは二酸化炭素を吸って酸素に変えてくれる。」「子どもや孫にきれいな地球を残したい。」「子どもたちは、そんな言葉を自分たちが社会で学習しているごみの環境学習とつなげて聞いていました。また、「水をしっかりあげたら、一つの種から20個ものゴーヤが収穫できる。」と聞き、ゴーヤを育てることに意欲的になっていました。子どもたちは、雨の日も、夏休みも、水を欠かさずあげていました。ゴーヤが大きく育ち、つるが伸び、花が咲き始めた7月ごろ、「はがきの名文コンクール」にもチャレンジしました。ゴーヤが育ち、地球をきれいにしてくれますように、おいしいゴーヤが食べられますようにという、ゴーヤへの願いを一人ひとりがつづっていました。子どもたちの願いも届き、夏休みには、たくさんのアバシゴーヤ、白ゴーヤがとれました。ゴーヤトンネルの中は涼しかったです。9月には、オレンジに熟れたゴーヤを観察しました。すると、中から真っ赤な種が！！食べてみると、とてもあまくておいしかったのですが、一番おどろいたことは、その種がはじめに自分たちが植えた種と全く同じだったこと。こうして、命はつながっていくのだと、命の循環に気づき、子どもたちは感動していました。そして、オレンジの実をゴーヤジャムにして、みんなで食べました。ゴーヤが苦くて嫌いだった子ども、「あまくておいしい」と喜んで食べていました。



ゴーヤから学んだことを保護者の皆様にも伝えたいと思い、4年生164名全員で、フリー参観で発表をしました。歌「MIDORI (みどり)」を歌い、自分たちが学んだことを一人一言ずつ伝えていきました。「伝えたい」という子どもの思いはさらに増し、たくさん採れたゴーヤの種を来年も育ててほしいと願いをこめて、3年生にプレゼントしました。10月には「みどりのフォーラム2016」に参加させていただき、子どもたちも達成感を感じていました。ゴーヤを育てて「よかったなあ」と思ったことを子どもたちが詩にすることもできました。

よかつたなあ ゴーヤを育てて
芽が出てきて わくわくして
緑が好きになっていく
水やり 苗植え ジャム作り
ゴーヤがきらいじゃなくなった
よかつたなあ ゴーヤを育てて
小さかった種が あんなに大きくなった
育てている間 みんなの笑顔が見られた
みんなの気持ちを 明るくしてくれた
よかつたなあ ゴーヤを育てて
入江さんと出会って
みどりのフォーラムにチャレンジできて
命のじゅんかんのことを学べて
きれいな地球を守れて
緑をふやすスタートになったかもしれない

とよなか市民環境展に参加しました！

平成28年11月25日(金)、26日(土)10:00~15:30に豊島体育館で「とよなか市民環境展2016」が行われました。交流会のプロジェクト活動やみどりのカーテンづくりのパネル展示を行いました。

